

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社 学研データサービス

②施設・事業所情報

名称：	森のエルマー保育園	種別：	認可保育園
代表者氏名：	園長 明珍 文子	定員（利用人数）：	60（45）名
所在地：	223-0058 神奈川県横浜市港北区新吉田東3-6-33		
TEL：	045-546-6202	ホームページ：	https://elmer-kids.com/
【施設・事業所の概要】			
開設年月日	2004年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：	特定非営利活動法人森のエルマー保育園		
職員数	常勤職員： 11名	非常勤職員：	16名
専門職員	保育士 14名	栄養士	1名
	看護師 0名	調理員	3名
	事務員 0名	保育補助	8名
施設・設備の概要	居室数 保育室6室、調理室、事務室、トイレ	設備等	園庭、図書室、遊び場、エルマーと小さいおうち

③理念・基本方針

保育理念

- ①NPO法人森のエルマー保育園は児童福祉法に基づき、乳幼児の保育を行います。
- ②ひとりひとりの子どもが現在を最もよく生き、望ましい未来を創り出す力の基礎を培う場となる保育園をめざします。
- ③職員は豊かな愛情をもって接し、児童の処遇向上のため、知識の修得と技術の向上に努めます。
- ④保護者や地域社会と力を合わせ、児童の福祉を積極的に増進し、あわせて地域者社会における家族援助を行います。

④施設・事業所の特徴的な取組

森のエルマー保育園は1984年12月、3名の保育士と10人の子どもたちにより「エルマー保育園」として産声を上げました。以来、保護者や地域の要望に応えながら、受け入れ人数及び対象年齢を広げ、2004年4月より認可保育所として運営しています。

「きょうのおやつはリンゴとシシャモ。」の看板が目を引く当園では、手作りの給食とおやつに力を入れています。安心、安全な食材を全国各地から取り寄せ、旬の食材を使い、日本の伝統食である和食を中心とした食事を提供しています。子どもたちからは「おいしい」との声が上がり、保護者には、出汁の試飲や味噌作りなどを通して和食の魅力を伝え、健康的な食事への関心を高めています。さらに、味噌作りには卒園後も保護者や卒園生が参加するなど、園と地域を結ぶ取り組みへと広がりをを見せています。

園行事は、季節に合わせて春はたけのこ掘り、夏はお楽しみ会、秋は芋掘り遠足、冬はクリスマス会や節分などを行っています。中でもたけのこ掘りやさつま芋掘りでは、子どもたちはどろんこになって自然と触れ合っています。そのほか日頃から散歩活動を取り入れ、子どもたちは四季の移り変わりを五感で楽しんでいます。

地域に根ざし、地域に開かれた園として、地域の子育て支援事業にも力を入れて取り組んでいます。広報紙「エルマー子育て新聞」には、地域の子育て家庭との交流計画や保健情報などを掲載し、町内会の回覧板を通して周知して、地域の子育て家庭の支援につなげています。

園は年間テーマである「子育て目標」を「子どもの笑顔がみたくから、家族・エルマー・地域で対話と交流を重ね、思いやりの共育ち！」とし、園長から職員及び保護者に向けて、繰り返し丁寧に説明しています。さらに、園の活動に対して職員だけでなく保護者も振り返りを行うなど、職員と保護者が一体感を持ち、より質の高い保育や環境づくりに取り組んでいます。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2023年7月5日（契約日）～ 2024年3月25日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	3 回（ 2018 年度）

⑥総評

◇特長や今後期待される点

◆安心・安全の手作り給食とおやつが子どもたちの心身の健康を支えています

「食べることは生きること」のビジョンのもと、日本の伝統食である和食を中心とした給食とおやつを提供しています。食事のおいしさの決め手となる出汁の素材にもこだわり、全国各地から安心・安全な食材を取り寄せ、旬の食材も取り入れて、子どもたちの「舌」を育てています。食事は陶器製の和食器で提供し、子どもたちは日本の食文化に触れるとともに、落としたり割れることを理解して0歳児から大切に扱っています。栄養士や調理員はクラスを巡回して喫食状況を把握し、次の献立や調理法に反映させるなどして食事の質を高めています。実際に子どもたちの残食は少なく「おいしい」と評判で、心身ともに健康な体づくりにつながっています。

◆長年にわたり地域に根ざし、これからも地域とともに歩んでいく保育園です

園は子育て支援事業を計画し、地域の親子を園の活動に招待して園の子どもたちと交流し、職員は保護者の育児相談にも応じています。地域向け広報紙「エルマー子育て新聞」は町内会の回覧板を通して周知され、子育て家庭の支援につながっています。保護者には行事やクラス会などの機会をとらえて園長から丁寧に保育の説明を行い、「エルマー通信」や保護者の振り返りも踏まえ園との共通認識を深めています。また、長年にわたる交流から地域住民や企業との信頼関係も構築されており、さまざまな場面で協力を得られています。多彩な活動を通して、園、地域、保護者との一体感が醸成され、地域の中で存在感を放ち地域とともに歩んでいく保育園です。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

4回目の第三者評価受審でした。評価基準も変わり、どのような評価になるのか心配な面もありましたが、園の強み、弱みを再認識することができたのは第三者評価の力だと思っています。利用者アンケートでも園の理念を94.9%以上の方々が理解して下さり、給食は子どもの状況に考慮し、工夫されたものになっているかの問いには100%のイエスをいただき、たいへん励みになりました。

これからの保育園はますます大きな時代の変化にさらされ、難しい運営が迫られています。職員や保護者・地域社会の方々のご協力を得て地域に必要とされる保育園をめざして、今後も努力していきたいと思います。

最後に今回の第三者評価の調査に携わった、評価機関の担当者様、評価調査者の方々、またお忙しい中、保育園へのアンケートにご協力いただきました保護者のみなさまにこの場をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございました。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり